

アルジェリア政治・経済月例報告
(2022年7月)

2022年8月
在アルジェリア日本国大使館

内政

- 5日、独立記念日に式典及び軍事パレードを実施。前日、シェングリハ参謀総長が大将(軍の最高階級)に昇格。5日の式典には、サイド・チュニジア大統領、バズム・ニジェール大統領、ンゲソ・コンゴ共大統領、サヘレウォルク・エチオピア大統領、アッバース・パレスチナ大統領、ガリ西サハラ「大統領」、カセラーティ伊上院議長、エルマングーシュ・リビア外相、エルナヒアン UAE 寛容相等が出席。テブン大統領は恩赦に関する5つの大統領令に署名。サイド大統領とともに記念碑《Jalon de la liberté》を設置。
- 9日、テブン大統領は犠牲祭の機会に、国軍・憲兵隊・警察・消防隊・税関・医療関係者・オラン地中海競技大会優勝者に対し祝意を述べた。また、ベンアブドゥルラフマーン首相は大モスクでの犠牲祭礼拝に参列。
- 11日、国軍参謀総長シェングリハ大将は翌日の卒業式臨席のため、シェルシェルの士官学校を訪問。12日、テブン大統領も同校を訪問し、卒業式を主催。
- 14日、テブン大統領はブラヒム・ジャメル・カッサリ財務相代行(財務事務次官)を正式に財務相に任命。
- 14日、大統領府は独立60周年を機とした恩赦につき対象カテゴリーを発表。
- 17日、テブン大統領は閣議にて、食糧安全保障の強化を指示。また、ベジャイア県及びティジウズ県内の複数地域における地方議会選挙を実施する大統領令に署名。
- 19日、ベンアブドゥルラフマーン首相は、テブン大統領の代理として、汚職に対する透明性・防止・対策に関する高等機関の設置を祝う式典を主催。
- 29日、ティムガット国際フェスティバルの開会式が中止。文化省は技術上の故障が原因と説明。
- 29日、当地独立系仏語主要紙のエル・ワタンの従業員は、5か月の給与未払いを理由として無期限のストを決行。
- 30-31日、テブン大統領は国内メディアによる定例インタビューを受け、オランでの地中海大会、独立記念日における軍事パレード、ソナトラックの業績好調等を賞賛し、アラブ・サミットの成功及びアフリカ大陸とのガスパイプ計画及び交通網の充実に向けた意欲、また、伊との機械工業、自動車、造船分野での共同生産を行う用意、ディナール価値の引き上げや賃金の段階的な引き上げ、失業保険の実施につき言及。

外交

- 5日、独立記念日の機会に来訪中のアッバース大統領とイスマイル・ハニヤ・ハマス代表の面会をテブン大統領同席の下実現。
- 6日、テブン大統領は独立記念式典出席のため当国訪問中の歴史家バンジャマン・ストラ

氏の表敬を受け、マクロン大統領からのメッセージを受領した。

● 6日、ラマムラ外相はタハ・イスラム協力機構事務局長と面会を行った。

● 6日、テブン大統領は訪問中のサヘレウォルク・エチオピア大統領と面会を行った。同機会に、近日中にアルジェ・アディスアベバ航空便が就航することを発表。同大統領は地中海協議大会閉会式出席のため、6日にオランを訪問。

● 6日、ラマムラ外相はアルジェにてアル・ミクダード・シリア外相と会談を行った。

● 6日、テブン大統領はロドリゲス・キューバ外相の表敬を受け、ディアスカネル・キューバ大統領及びカストロ元大統領からの独立記念日祝意書簡の手交を受けた。

● 6日、当国を訪問中のイスマイル・ハニヤ・ハマス代表は、グジル上院議長及びブガリ下院議長とそれぞれ面会した。

● 7日、外務省は、日アルジェリア租税条約の交渉が原則合意した旨を歓迎するコミュニケを発表。

● 8日、テブン大統領は、独立60周年を祝して習近平主席から「「一帯一路」構想の枠組みで協力を推進するために更なる努力をする意志がある」旨のメッセージを受領した。

● 8日、テブン大統領は、犠牲祭を祝してカタール首長、エジプト大統領、パレスチナ大統領から架電を受け、チュニジア大統領と電話会談を行った。

● 9日、外務省は、8日未明、マリ・ガオ市を走行中のトラックが武装集団に襲撃され、アルジェリア人3名が負傷した旨コミュニケで発表。犯行声明はなかった由。12日、テブン大統領の決定により、負傷したアルジェリア国民を軍用機で本国の病院への輸送が実行された旨、アルジェリア外務省が発表。

● 12日、グジル上院議長はドス・サントス前アンゴラ大統領の逝去に関し、当地アンゴラ大使館を弔問し、テブン大統領の名において記帳した。

● 13日、カイド外務省事務次官、ダディアドゥン上院外交委員会委員長、ブデン下院副議長らが、安倍元総理の逝去に際して当館を弔問のために来訪し、それぞれテブン大統領、グジル上院議長、ブハリ下院議長の名において記帳した。

● 13日、テブン大統領はベリアエフ当地露大使の離任挨拶表敬を受け、策定作業中の新しい戦略文書は、「将来的に両国間の交流を強化するための基礎」となるものであると述べた。

● 15日、チュニジアとの陸路国境が正式に再開。同日、テブン大統領はサイド大統領から電話を受け、二国間関係の促進につき議論。

● 17日、アルジェリアと露の軍事協力活動の一環として、露海軍黒海艦隊の軍艦分遣隊がアルジェ港に入港。

● 18日、14-15日のAU執行理事会会合（於：ルサカ）にて、国際会議等への全てのAU加盟国の参加を求める旨の「決定」がなされ、ポリサリオ戦線はTICAD等への「西サハラ」の参加を促すものとしてこれを歓迎。

● 19日、アルジェリア当局が、航空会社エアノストラムの子会社であるスペインのプリサ社との消火用航空機の調達契約を破棄。

● 19日、ブースレイマーニー報道相は、露デジタル開発・通信・マスメディア担当副大臣と面会。

- 19日、タビ法務相はアルジェ来訪中のクウェート法務相と会談し、司法分野における協力プログラムに署名した。
- 20日、テブン大統領は、チュニジアでの森林火災について、チュニジアの要請に基づき即時の救援部隊の派遣を決定。同日、サイド・チュニジア大統領よりテブン大統領に対し謝意表明の電話があった。
- 22-23日、ラマムラ外相はイラクを訪問し、サーレハ大統領、カーズィミー首相、フセイン外相、及びハルブシ国会議長と会談。パレスチナ問題及びアラブ・サミットについて議論した他、アラブコンタクトグループの役割を再度強調。
- 24-25日、ラマムラ外相はシリアを訪問し、アサド大統領及びミクダート外相と会談。パレスチナ問題及びアラブ・サミットについて議論した。
- 28日、ベンアブデルラフマーン首相はメサウド・モーリタニア首相と電話会談。今後の二国館関係強化の方策について協議。
- 28日、ラマムラ外相は、西サハラを視察中のアデオエ AU 政治・平和安全保障委員と会談。
- 31日、テブン大統領はメルズーグ・モーリタニア外相と会談。9月中旬にモーリタニアにて開催が予定されている第19回アルジェリア・モーリタニア混合委員会の準備を協力して行うとした。同日、ラマムラ外相とも会談し、リビア及びマリの情勢等について意見交換。
- 31日、シェングリハ参謀総長はアルジェ訪問中のカメルーン国防相と会談。

経済

- 3日、テブン大統領は閣議において、首相の監督下で輸入除外製品の指定を行う輸入規制最高評議会の設立、ガラ・ジェビレット鉄鉱床からの輸送を目的とした南部県の道路整備を指示。
- 3日、ハッカール国営石油公社ソナトラック総裁は、2021年の事業報告を発表。炭化水素輸出量は9500万石油換算トン（前年比18%増）、石油関連製品の輸入量は255000トン（前年比70%減）、原油の年間平均輸出価格は72.3ドル/バレルを記録した旨述べた。
- 6日、アルカブ・エネルギー鉱業相は、ハッカール国営石油公社ソナトラック総裁同席のもとアルズー（オラン県）でのメチル tert-ブチルエーテル（MTBE）製造コンビナートの開所式を実施。同施設は無鉛ガソリンへの添加に使用されることを目的とした年間20万トンのMTBEを製造する。
- 10日、再生可能エネルギー公社 SHAEMS は、太陽光1000MW プロジェクトを2023年末か、遅くとも2024年初めに開始する旨発表。同プロジェクトの一つであるベニ・ウニフ発電所（ベシャル県、30MW 規模）の発電が開始される見込みであり、同事業による電力は今後25年間、直接電力購入契約によりソネルガスに販売されるとした。また同社は2回目の入札書募集は2022年末までに開始されると述べた。
- 10日、国営石油公社ソナトラックは、仏ガス電力会社エンジーとの Medgaz パイプラインを通じた3年間の天然ガス売買契約を締結。ハッカール総裁はアルジェリア産ガスの価格

改定に対し、世界的なガス価格の高騰を考慮し、全ての顧客に対し行われるものであると述べた。

● 12日、OPECは、アルジェリア・サハラブレンドの6月平均価格が128.31ドル／バレル（前月比11.3%増）となり同月の最高価格を記録した旨発表。

● 13日、投資法案が上院において全会一致で可決された。可決後、ゼグダール産業相は、近日中に関連する8つの関連法を提示することを発表し、銀行や不動産など関連する全ての分野の改革が必要だと主張した。

● 14日、スアクリ・グループは、メフタ（ブリダ県）での米国企業との共同事業で100億ディナール規模の私立病院建設の定礎式を実施。同病院の収容床数は300床、一日辺り365人程度の診療が可能であるとし、建設期間は3年間を予定している。

● 15日、国営石油公社ソナトラックは、翌週以降の伊向けガス供給量を40億 m^3 増加させる旨発表。同社は伊向けガス139億 m^3 （計画比113%）を供給しており、2022年末までに追加の60億 m^3 のガスを供給する見込み。

● 17日、2022年補正予算法案が閣議で承認。

● 18日、テブン大統領とアルジェを訪問中のドラギ伊首相は、第4回伊アルジェリア政府間サミットにおいて工業、製薬産業、スタートアップ・投資、公共事業、再生可能エネルギー等の分野における15の協定や覚書に署名。二国間経済フォーラムを同日開催し、ベンアブドゥルラフマーン首相、レジグ商業相、ドラギ伊首相、デ・マイオ伊外相が出席。

● 19日、テブン大統領は、米オキシデンタル・ペトロリウム、伊Eni、仏トタル・エナジーの代表者と面会し、同日ソナトラックは同社らとの間でベルキン（ウアルグラ県）地域開発に関する40億ドル規模の炭化水素の生産分与契約に署名した旨発表。10億バレル超の追加の炭化水素生産を見込む。またソナトラック総裁は、現在複数の海外企業と交渉中であり、2022年末までに3～4件の新規契約が締結されると述べた。

● 22日、国営海上輸送公社 ENMTV は、アルジェーナポリ間の船便運航を開始。

● 24日、国営石油公社ソナトラックは、Medgaz パイプラインを通じたスペイン向けガス供給がパイプライン内の事故のため一時中断したが、直ちに再開した旨発表。

● 21－26日、アルジェにてアフリカ電気通信連合総会が開催。アルジェリア郵便・電気通信規制機構（ARCEP）がニジェール及びマリの郵便・電気通信機構との相互協力に関する合意書に署名。24日、トリキ郵便・情報通信相は、トランス・サハラ・光ファイバー基幹プロジェクト（DST）連絡委員会の第1回会合を開催。同事業はアフリカ連合（AU）による「アフリカ開発のための新パートナーシップ（NEPAD）」の一環であり、第1フェーズではアルジェリア、ニジェール、ナイジェリア、チャド間を、第2フェーズではアルジェリア、マリ、ニジェール間に光ファイバー網を敷設する。なお、アフリカ開発銀行（ADB）は2017年に同事業に対する資金提供を決定している。

● 25日、ソナトラックは、伊Eniとの共同探査により3つの新規ガス田及び油田を発見した旨発表。

● 25日、アルジェリア税関は、2022年上半期の貿易収支報告書を発表。輸出は259億9千万ドル（前年同期比48.3%増）、うち非炭化水素部門は35億700万ドル。輸

入は202億2千万ドル（前年同期比7.4%増）。貿易収支は56億8900万ドルの黒字（前年同期は13億ドルの赤字）となった。主要な輸出先は伊（22%）、西（12%）、仏（10%）、蘭（7%）、米（6%）、主要な輸入先は中国（17%）、仏（7%）、ブラジル（7%）、アルゼンチン（6%）、伊（6%）。

●26日、アルカブ・エネルギー鉱業相は、国営企業 MANAL 及びトルコの Özmerit Algérie によるテベッサ県の2か所の鉄鉱山開発に関する1億7500万ドル規模の契約署名式に出席。同事業は本年には10万トン、2028年には50万トンの鉄鉱石生産を見込む。2鉄鉱床の埋蔵量は1億2300万トンと推定され、うち7700万トンが開発可能とされる。

●28日、テブン大統領はナイジェリアのシルバ石油資源担当国務大臣及びニジェールのマハマド・エネルギー・再生エネルギー相と会談。アルカブ・エネルギー・鉱業相が同席。閣僚級二者会談後、ナイジェリア、ニジェール及びアルジェリアを結ぶガス・パイプライン計画に関する合意文書に署名。

●28日、アブダラー・ムンジ運輸相は、運輸分野で提供する56の電子サービスを含むデジタルポータルへの立ち上げについての同省関係者との会議の議長を務めた。

●28日、議会で採択された投資法が官報（N° 50）で公布。

●28日、対西貿易取引の制限につき、アルジェリア銀行・金融委員会（ABEF）が当該制限の解除を発表。30日、APSは当該解除の権限が委員会にないと報道。

●30日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、ティンドウフにて、ガラ・ジェビレ・ウエストの鉄鉱山を開発するプロジェクトの開会式に参加した。第1フェーズは、2022年から2025年にかけて、200～300万トンの鉄鉱石を採取し、その一部は中国に輸出される予定。第2フェーズは2026年開予定で、年間追加で40～50万トンの鉄鉱石を採掘し、新たに整備される鉄道で輸送する予定である。なお、鉄鉱石鉱床の総埋蔵量は30億トンと推定されている。

●31日、米 S&P グローバルによると、アルジェリアは7月に入ってから約26万トンのLPGをアジア向けに輸出しており、その大半は東南アジアや東アジアの国々向けであった。中国は本年上半期にアルジェリアから20万5千トンのLPGを輸入し、前年同期比で28%増となっている。

●31日、アルジェリアーセネガルを結ぶ初の貨物船が就航。

治安

●7日、国軍は5日にアイン・デフラ県西部エル・マイン地区で実施した掃討作戦中に契約兵員（伍長）1名が戦死したと発表。

●7日、ウアルグラ県警察は6日に偽造2千ディナール紙幣の取引網を検挙し、市場流通前の同偽造紙幣を461万ディナール相当押収したと発表。

●14日、国軍は6月29日から7月12日までの掃討作戦でテログループ支援者21人を逮捕したうえ、テベッサ県及びアイン・デフラ県においてテロリストのアジト1か所と手製爆弾6個を発見し破壊したと発表。

●19日、アルジェ県警察は17日に県内でパルキングール（Parkingeur：違法駐車案内人）

の取締りを実施し12人を逮捕したと発表。(パルキングールとは、路上等の公共空間に駐車したドライバーに対し、同駐車場所の管理者等を自称して、駐車料金等の名目で違法に金銭を請求する者たちの俗称。)

●21日、国軍は13日から19日までの掃討作戦でテログループ支援者2人を逮捕し、ブーメルデス県においてテロリストのアジト6か所と手製爆弾5個を発見し破壊したと発表。

●29日、シディベラベス県において結婚披露宴に参加していた13歳の少年が被弾し重体となる銃撃事件が発生。当国では過去に、結婚披露宴の祝砲で撃った猟銃の弾が参加者に命中する事件が発生しているところ、治安機関が本件を捜査中。

(了)